

言語文化学部について

—言語文化学部説明とキャンパスライフの紹介—
来場型オープンキャンパス言語文化学部説明会
2024年7月28日

言語文化学部長
三宅登之

東京外国語大学の特色



(本学Instagramより)

多言語多文化の空間、高度な言語教育

主専攻語として14地域28言語の教育体制、主専攻語以外にも合計81言語を学べる

ただし、ただ外国語ができるようになるだけではない！
Tokyo University of Foreign Studies

多言語多文化空間

- 28専攻語、アジア・アフリカ言語文化研究所、留学生日本語教育センター

- 留学生：約600人の留学生が本学を訪れている
国際交流会館

→キャンパスの中は多言語空間



多言語多文化空間の一例：図書館

総蔵書数約88万冊、160を超える言語の書籍と資料を有する

日本語図書・英語図書が合わせて全体の40%



東京外国語大学の3つの学部

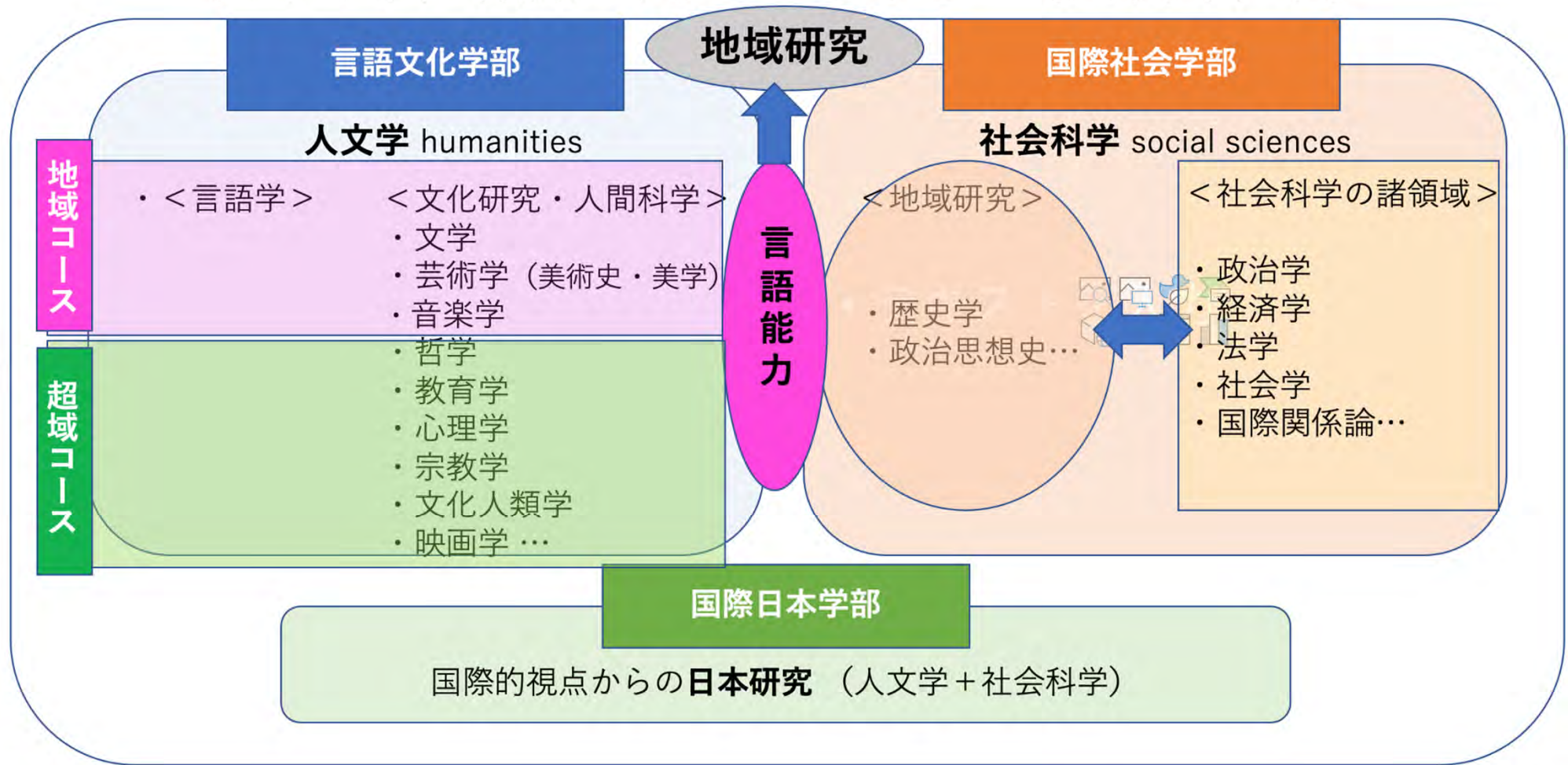


言語文化学部

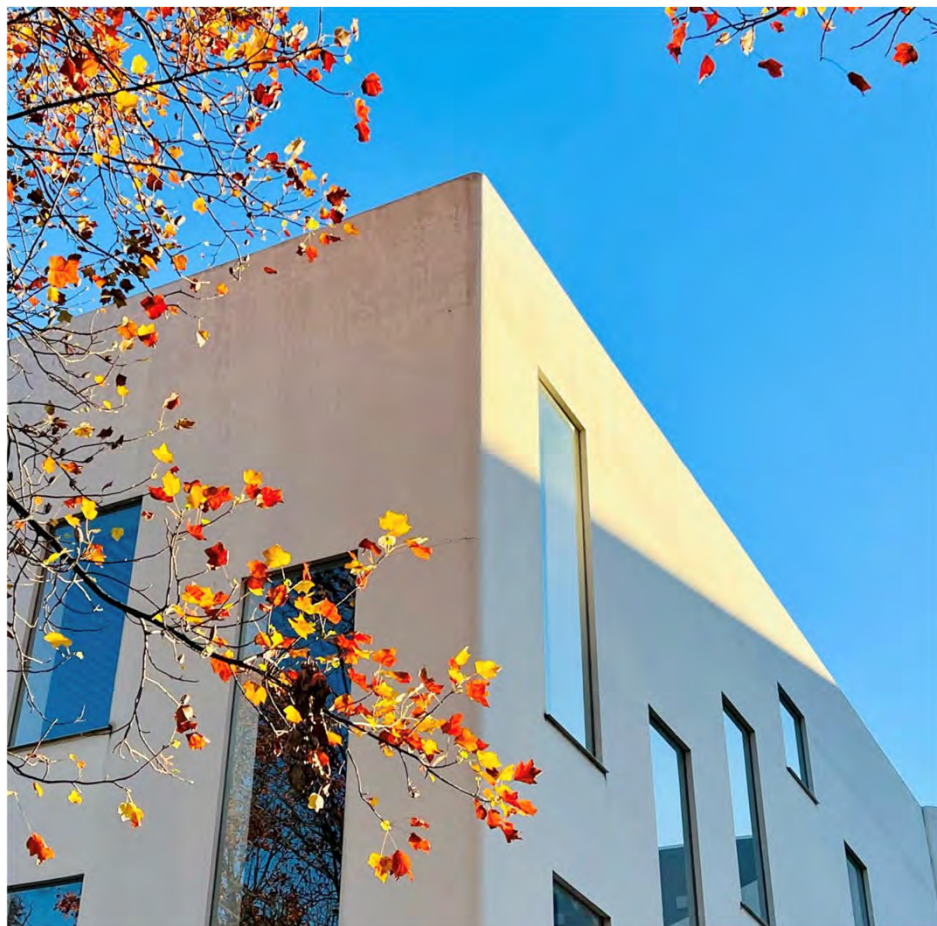
国際社会学部

国際日本学部

東京外国語大学の研究・教育体制



言語文化学部の学びの特長

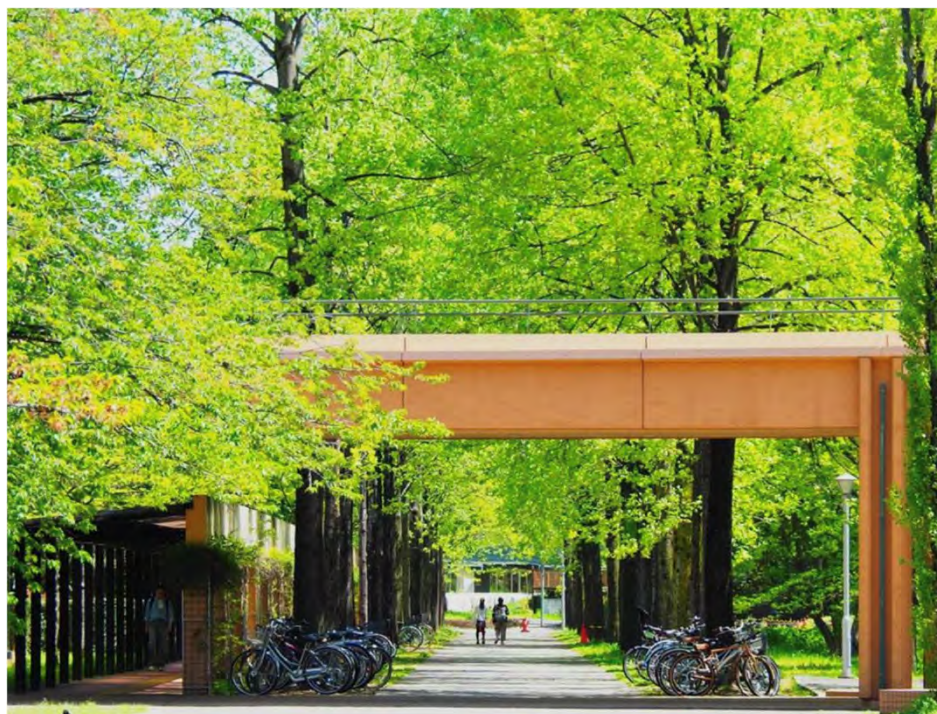


世界のさまざまな地域の言語や文化を深く学びます。

専攻言語や英語の高度な運用能力を身につけます。その他の外国語も多様に組み合わせつつ、高いレベルで言語を習得します。

言語研究・文化研究を中心とした人文学的思考を養成します。

言語文化学部で養成される人物像



世界のことばや文化、特に専攻地域のことばや文化に精通し、優れた職業的能力を備えた国際教養人を育成します。

異なる文化への深い理解にささえられた高いコミュニケーション能力とコーディネーション能力をもち、国内外で言語間・文化間の架け橋となって新たな価値を生み出す人々を社会に送り出します。

東京外国語大学のディプロマポリシー

(ディプロマポリシー = 各大学が定める「卒業認定・学位授与の方針」)

- ① 高度な言語運用能力
- ② 日本や世界諸地域についての知識・教養
- ③ 現代社会を生きる力
- ④ 専門的な知識
- ⑤ 主体的に考え、行動し、発信する力

これを身に付けた人に「学士（言語・地域文化）」の学位を授与します。

上記の方針にもとづき、言語文化学部の学位授与に当たっては、次のような力を身に付けていることが求められます。



言語文化学部のディプロマポリシー

① 高度な言語運用能力

- ・ 専攻言語に関し、読む、聞く、話す、書くという4技能で、高度な言語運用能力を身に付けていること。
- ・ 英語に関し、読む、聞く、話す、書くという4技能で、国際社会で活躍するに足る実用的な運用能力を身に付けていること。

② 日本や世界諸地域についての知識・教養

- ・ 専攻する地域の文化・社会について、さまざまな観点から十分に学び、基礎的知識・教養を身に付けていること。

③ 現代社会を生きる力

- ・ 世界の多様な言語的・文化的背景を持った人々と協働することが求められる現代社会で活躍できる、幅広い知識・教養を身に付けていること。

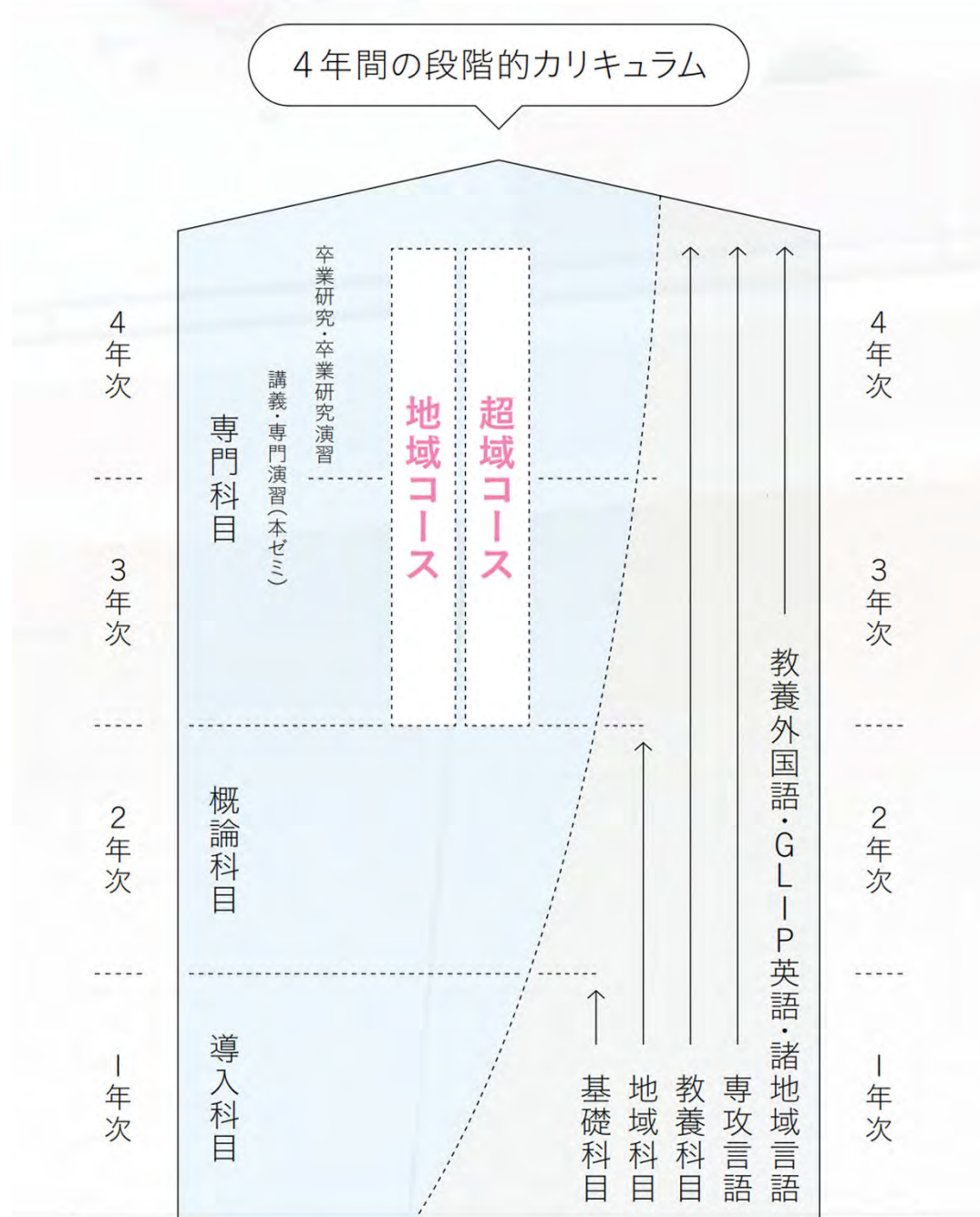
④ 専門的な知識

- ・ 世界諸地域の言語・文化を中心とする人間の営みの意味や構造を分析する諸学問分野についての専門的な知識を身に付けていること。

⑤ 主体的に考え、行動し、発信する力

- ・ ものごとを探求し、客観的に分析する力、さまざまな情報を体系化して整理する力、それらをわかりやすく表現する力を身に付けていること。
- ・ 短期・中長期の留学やインターンシップ等への参加の経験を通じ、主体性を発揮し世界の人々と協働する行動力を身に付けていること。

4年間のカリキュラム



言語文化学部で学べること

全体として：言語研究／文化研究

School of Language and Culture Studies

【地域研究としての言語研究／文化研究】

- ・ 言語学、文学、芸術、映画、表象文化論…

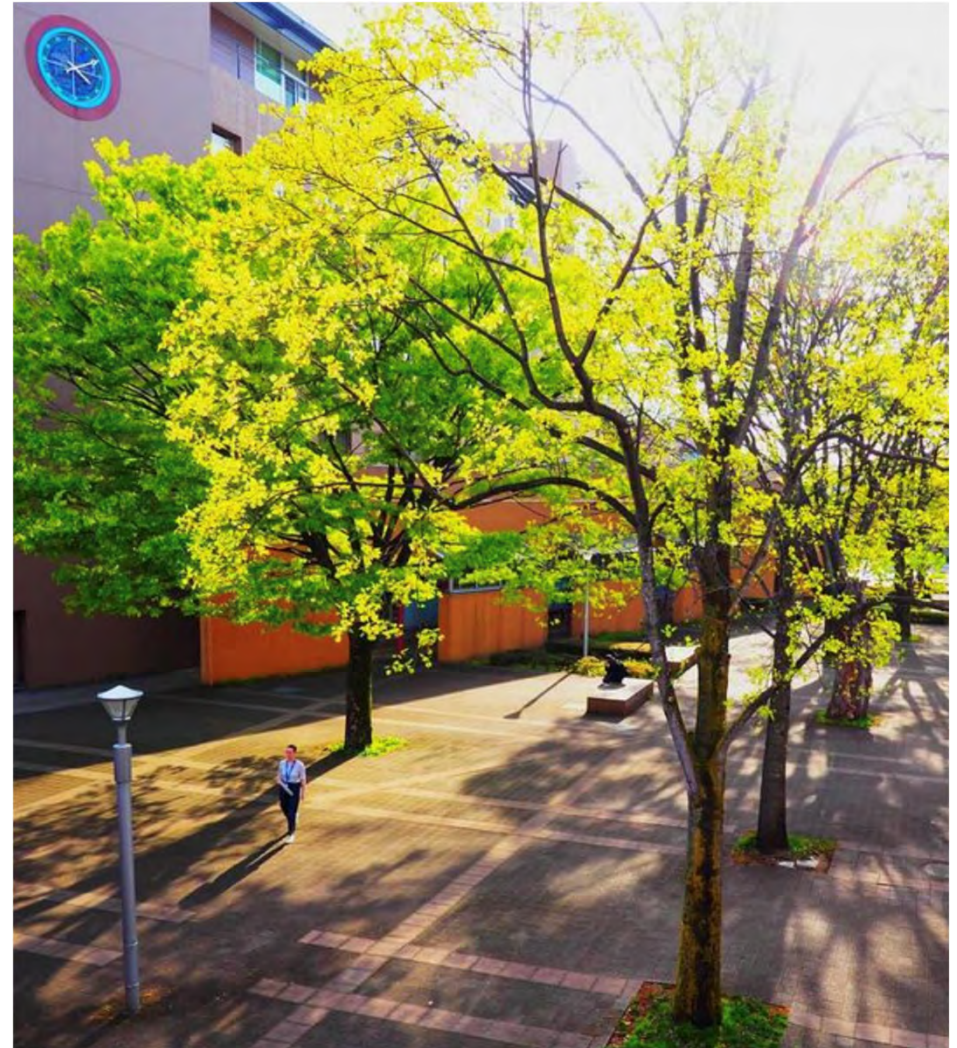
【超域的言語研究／文化研究】

- ・ 比較言語学、文学理論、言語教育学、通訳・翻訳、宗教学、心理学、科学史…

3年次からの2コース

(1) 地域コース

(2) 超域コース



地域コース

- 世界の10地域の特定の言語圏について、言語学、文学、芸術、音楽、映画、思想、宗教、現代文化といった特定の研究領域に重点を置いて学びます。
- 開講される専門科目
ヨーロッパ・アメリカ言語研究 / ヨーロッパ・アメリカ文化研究 / アジア・アフリカ言語研究 / アジア文化研究 など

超域コース

・ 言語学・言語情報処理学（言語学、音声学、コーパス言語学など）、言語教育学（英語教育学など）、通訳・翻訳（通訳・翻訳論、コミュニケーション論など）、文学・文化理論（文学、思想、文化人類学、宗教学など）、人間科学（心理学、スポーツ科学など）の5つの学問分野のなかから1つを選び、特定の言語や地域を超えた言語研究・文化研究を行います。

・ 開講される専門科目

言語学 / 音声学 / 言語処理論 / 英語教育学研究 / コミュニケーション論 / 通訳・翻訳論 / 文化・文学研究 / 思想文化研究 / 言語教育学研究 など

ゼミ（3年次から所属）

3年次では、自分の指導教員の「専門演習」を必ず履修。



4年次になると「卒業研究演習」で指導を受けながら、自分自身の研究テーマで「卒業研究」の執筆・制作に取り組む。



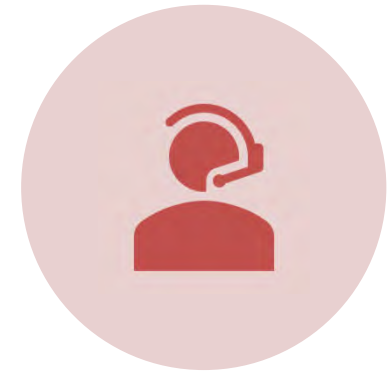
ゼミで身につく力



専門的な関心と知識を深め、
高いレベルの思考力・分析
力・表現力を身につける



チームワークとディスカッショ
ンの力を高める



多様な学びの中での実践力・
発信力・主体性を伸ばす

ゼミの様子



学校生活の様子



学校生活の様子



学校生活の様子



学校生活の様子



学校生活の様子

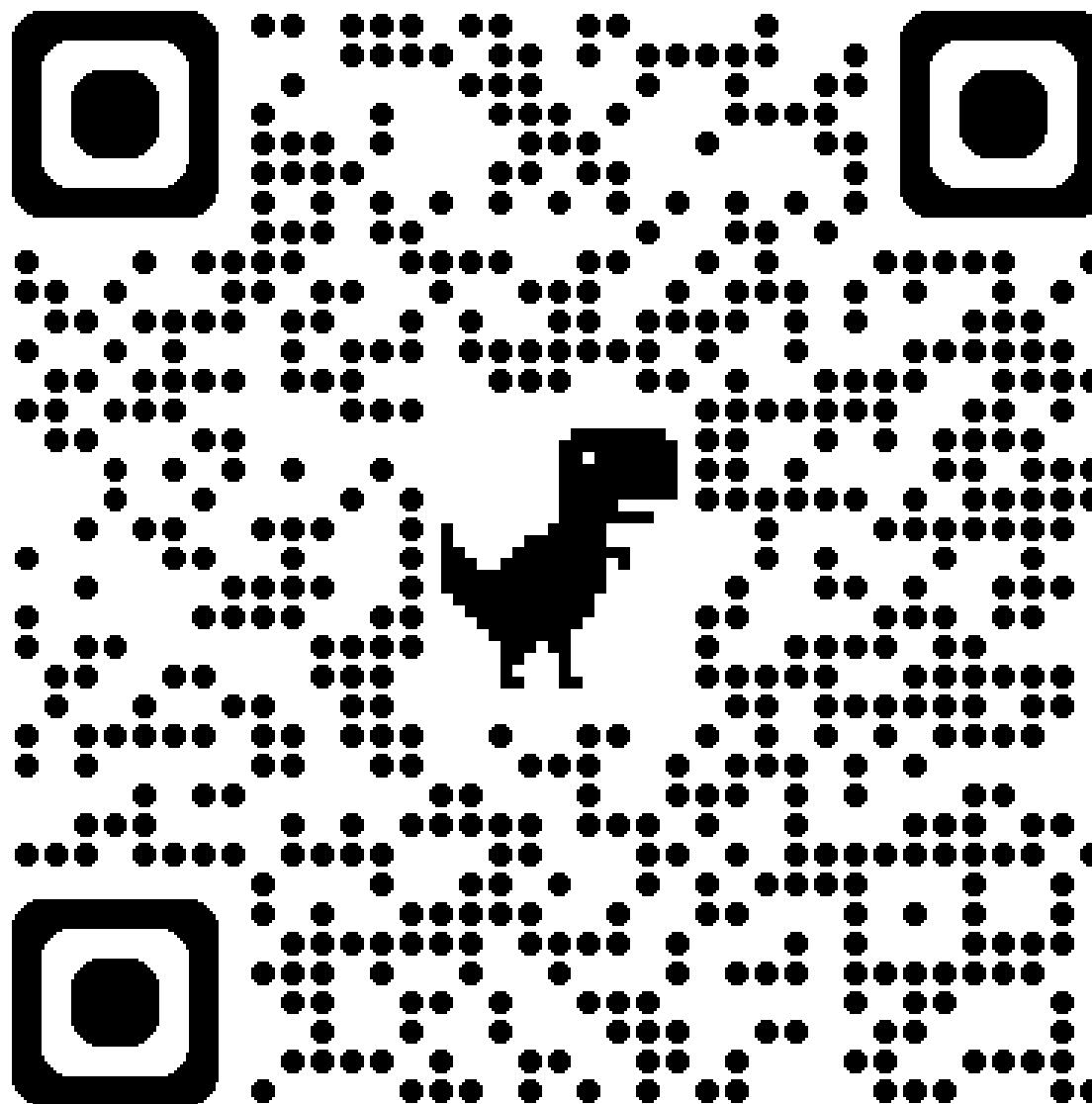


学校生活の様子



言語文化学部紹介動画 ぜひご覧ください！

(本学トップページ → 学部・大学院／教育 → 言語文化学部)





**ご清聴ありがとうございました。
東京外国語大学言語文化学部でお
会いしましょう！**